

# 1 ヤクチ

## 2 生薬の性状の次に次を追加する。

3 確認試験 本品の粉末1.0 gに水/メタノール混液(1:1) 6 mL  
4 及びヘキサン3 mLを加えて5分間振り混ぜた後、遠心分離し、  
5 上澄液の上層を試料溶液とする。別に薄層クロマトグラフィー  
6 用ノオトカトン1 mgをヘキサン1 mLに溶かし、標準溶液  
7 とする。これらの液につき、薄層クロマトグラフィー  
8 〈2.03〉により試験を行う。試料溶液20  $\mu$ L及び標準溶液10  
9  $\mu$ Lを薄層クロマトグラフィー用シリカゲルを用いて調製し  
10 た薄層板にスポットする。次にヘキサン/酢酸エチル混液  
11 (3:1)を展開溶媒として約7 cm展開した後、薄層板を風乾す  
12 る。これに2,4-ジニトロフェニルヒドラジン試液を均等に  
13 噴霧するとき、試料溶液から得た数個のスポットのうち1個  
14 のスポットは、標準溶液から得たスポットと色調及び $R_f$ 値  
15 が等しい。

16 -----

## 17 9. 41 試薬・試液の項に次を追加する。

18 ノオトカトン、薄層クロマトグラフィー用  $C_{15}H_{22}O$  白色～  
19 薄い黄色の結晶又は結晶性の粉末である。メタノール、エタ  
20 ノール(99.5)又はヘキサンに極めて溶けやすく、水にほとん  
21 ど溶けない。

22 確認試験 本品につき、赤外吸収スペクトル測定法〈2.25〉  
23 の臭化カリウム錠剤法により測定するとき、波数2950  $cm^{-1}$ 、  
24 1670  $cm^{-1}$ 及び898  $cm^{-1}$ 付近に吸収を認める。

25 純度試験 類縁物質 本品2 mgをヘキサン2 mLに溶かし、  
26 試料溶液とする。この液1 mLを正確に量り、ヘキサンを加  
27 えて正確に20 mLとし、標準溶液とする。これらの液につき、  
28 薄層クロマトグラフィー〈2.03〉により試験を行う。試料溶  
29 液及び標準溶液10  $\mu$ Lずつにつき、「ヤクチ」の確認試験を  
30 準用し、試験を行うとき、試料溶液から得た $R_f$ 値0.35付近  
31 の主スポット以外のスポットは、標準溶液から得たスポット  
32 より濃くない。

33

34